

平成 25 年度事業報告

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

一般社団法人 東京都空手道連盟

1 空手道の講習会及び講演会の開催

空手道を究明し、その実践活動を通して広く斯道の普及、啓発を図り、豊かな肉体と精神を涵養^{かんよう}することにより、心身の健全な発展に寄与することを目的とした講習会、講演会を開催した。

日付	事業名	会場名	備考
平成 25 年 7 月 20・21 日	都道府県強化選手合宿	日本空手道会館	200 名
平成 25 年 5 月～12 月	強化練習	国士舘大学・日本空手道会館	延べ 700 名

2 空手道大会の開催

生涯スポーツとしての観点から、幼年から中高年層を対象とした空手道大会を開催した。大会の実施に当たっては、広く会員に参加を呼びかけ、大会の成功と内部組織の充実強化を図った。

日付	事業名	会場名	役員・審判員等	参加選手
平成 25 年 5 月 12 日	第 66 回都民体育大会	日野市市民の森ふれあいホール	74 名	男子 38 チーム 女子 11 チーム
平成 25 年 5 月 26 日	第 27 回東京都小学生空手道選手権大会	東京武道館	122 名	2,248 名
平成 25 年 6 月 23 日	第 43 回東京都空手道選手権大会	東京武道館	107 名	639 名 0 チーム
平成 25 年 7 月 28 日	第 27 回中学生・幼年空手道選手権大会	東京武道館	87 名	850 名
平成 25 年 11 月 25 日	第 20 回シニアオープン空手道大会	新宿コズミックセンター	53 名	517 名

3 公認指導員及び審判員の養成並びに資格認定

(1) 公認指導員講習会を実施して優秀な指導者を育成するとともに、公認指導員有資格者については、上級の資格を取得すべく、文部科学省及び公益財団法人日本体育協会並びに公益財団法人東京都体育協会のスポーツ指導員講習会へ受講者を派遣した。

日付	事業名	会場名	参加者
平成 25 年 10 月～26 年 1 月	スポーツ指導員養成講習会	荒川スポーツセンター他	受講者●名
平成 26 年 2 月 1 日	東京都公認指導員講習会	日本空手道会館	新規 名 更新 名

(2) 公認審判員講習会を実施して審判員を育成し、審判レベルを向上させるために、公益財団法人全日本空手道連盟の主催する地区及び全国公認審判員講習会へ受講者を派遣した。

日付	事業名	会場名	受講者
平成 25 年 3 月 31 日	第 1 回審判団編成講習会	日本空手道会館	全国 35 名 地区 30 名 A7 名 B4 名
平成 25 年 4 月 7 日	第 2 回審判団編成講習会	東大和市民体育館	全国 21 名 地区 22 名 A4 名 B3 名
平成 25 年 5 月 6 日	東京都公認審判員講習会	日本空手道会館	更新者含 A15 名 B19 名 区郡市 0 名
平成 25 年 5 月 6 日	女子組手審判員講習会	日本空手道会館	区郡市 6 名
平成 26 年 2 月 2 日	全空連指定形講習会	日本空手道会館	名

4 公認段位審査会の開催

少年(8歳～15歳)の初段位・弐段位及び16歳以上の初段位から参段位までの公認段位審査会を主管・実施に加え、上級の公認段位を取得すべく、講習会などを開催し、公益財団法人全日本空手道連盟の主催する公認段位審査会への受審者を派遣した。

日付	事業名	会場名	受審者	合格者
平成25年4月21日	春季公認段位審査会	日本空手道会館	少初115名 少弐9名 初47名 弐36名、参21名	少初104名、少弐9名 初39名 弐31名、参10名
平成25年10月6日	秋季公認段位審査会	日本空手道会館	少初93名、少弐6名 初45名、弐29名、参16名	少初83名、少弐4名 初37名、弐23名、参9名

5 空手道に関する関係諸団体の実施する諸事業に対する協力援助

- (1) 各競技団体(関東学生空手道連盟、東京都高等学校体育連盟空手道部、東京都中学校空手道連盟、東京都スポーツ少年団等)との交流を深め、関連する諸事業に協力した。
- (2) 東京都教育委員会及び公益財団法人東京都体育協会並びに公益財団法人全日本空手道連盟等、関係団体の事業に対し積極的に協力した。

①公益財団法人全日本空手道連盟

日付	事業名	会場名	参加者	備考
平成25年4月6・7日	全空連強化選手選考会	日本空手道会館	選手10名	
平成25年8月10・11日	第12回全日本少年少女空手道選手権大会	東京武道館	選手48名	
平成25年10月19日	第9回全日本障害者空手道競技大会	東京武道館	選手5名	
平成25年9月14～16日	日本スポーツマスターズ2013空手道競技	北九州市立若松体育館	選手18名	
平成25年9月29日～10月1日	第68回国民体育大会	日野市市民の森ふれあいホール	選手10名	男女総合優勝
平成25年12月7日	第41回全日本選手権大会(団体戦)	東京武道館	2チーム	男子準優勝 女子優勝
平成25年12月8日	第41回全日本選手権大会(個人戦)	日本武道館	選手4名	動員2,156名
平成26年3月28～30日	第8回全国中学生空手道選抜大会(はまなす杯)	北海道北広島市総合体育館	選手24名	女子5位

②全日本空手道連盟関東地区協議会

日付	事業名	会場名	備考
平成25年7月17日	地区公認形審判員講習会	神奈川県立武道館	受講9名 合格8名 更新8名
平成25年8月17・18日	第43回関東空手道選手権大会	神奈川県綾瀬市民スポーツセンター	総合優勝
平成25年10月21日	第16回関東中学生選手権大会	栃木県立県北体育館	参加選手個人8名 団体8チーム
平成25年11月16日	地区公認組手審判員講習会	日本空手道会館	新規9名 合格8名 更新22名
平成25年11月18日	公認四・五段位審査会	日本空手道会館	四段位=受審17名 合格12名 五段位=受審18名 合格6名
平成25年2月9日	関東地区審判講習会	日本空手道会館	受講者49名

③公益財団法人日本武道館

日 付	事 業 名	会 場 名	備 考
平成 25 年8月3日	平成25年度全日本少年少女武道錬成大会	日本武道館	2,500 名

④東京武道館

日 付	事 業 名	会 場 名	備 考
平成 26 年2月 11 日	第 12 回東京武道館杯	東京武道館	140 名
平成 26 年2月 21 日	東京武道館錬成講習会	東京武道館	

⑤全日本中学校空手道連盟

日 付	事 業 名	会 場 名	参加者
平成 25 年8月 16～18 日	第 21 回全国中学生選手権大会	長野県若里多目的スポーツアリーナ ビッグハット	32 名

⑥公認指導員並びに審判員の養成と資格認定

日 付	事 業 名	会 場 名	備 考
平成 25 年4月 13・14 日	全国公認形審判員講習会	日本空手道会館	受講 22 名 合格 3 名 更新 23 名 ランク 26 名
平成 25 年4月 20・21 日	全国公認組手審判員講習会	大阪府立体育館	新規2名
平成 25 年 7 月 8 日	スポーツ指導員義務講習会	神奈川県立武道館	受講 58 名
平成 25 年 9 月 8 日	日体協公認コーチ更新講習	日本空手道会館	受講 19 名
平成 25 年 12 月 14 日	公認六段位審査会	日本空手道会館	受審8名 合格 0 名
平成 25 年 12 月 15 日	公認七段位審査会	日本空手道会館	受審1名 合格 0 名
平成 26 年 3 月 2 日	公認八段位審査会	日本空手道会館	受審 名 合格 0 名

(5)選手選考会の開催

日 付	事 業 名	会 場 名	参加者
平成 25 年4月 20 日	都空連強化選手選考会(成年)	日本空手道会館	選手 80 名
平成 25 年5月9日	都空連強化選手選考会(少年)	日本空手道会館	選手 50 名
平成 25 年6月 2 日	全国中学生・関東中学生大会代表選手選考会	江東区スポーツ会館	選手 名
平成 25 年6月 2 日	日本スポーツマスターズ代表選手選考会	江東区スポーツ会館	選手 名
平成 25 年6月 2 日	関東大会代表選手選考会	江東区スポーツ会館	選手 名
平成 25 年 10 月 17 日	全日本大会代表選手選考会	日本空手道会館	選手 40 名

6 空手道に関する刊行物の発行

本連盟の活動内容や事業、関係諸団体や各区郡市本部の諸事業に関しては、紙媒体ではなくホームページを活用し、情報提供した。

7 その他、この法人が目的を達成するために必要な事業

- (1)財源の確保の基礎となる正会員等の拡大を図った。
- (2)選手権大会及び諸事業を推進させるために、広く財源を求めた。
- (3)区郡市理事長会議及び同連絡会議を開催して、各区郡市本部からの意見を広く聴取し、それを本連盟の運営に反映させ、組織の強化充実を図るために努力した。

日 付	事 業 名	会 場 名	参 加 者
平成 25 年 11 月 12 日	区郡市理事長会議	日本空手道会館	50 名

- (4)会員一人一人が参加できるような運営形態を維持していくために、各区郡市本部の行事を後援した。
- (5)総会及び理事会の開催
 - ①通常総会を年2回、定款の定めるところにより開催した。
 - ②理事会を定款の定めるところにより開催した。
- (6)幹部中央研修会等のあらゆる機会をとらえて、連盟の運営等についての意見を広く掌握し、組織の充実・強化を図った。

日 付	事 業 名	会 場 名	参 加 者
平成 26 年 1 月 19 日	平成 25 年度幹部中央研修会	都空連事務所	22 名

- (7)斯道を通じて広く都民の体位向上と、青少年層に対する健全な心身の育成に重点を置き、区郡市連盟を基盤とした本連盟の充実発展を図った。
- (8)生涯スポーツの視点から、中高年層への普及活動を積極的に行なった。
- (9)エンブレム、ネクタイ、ワッペンなどあっせんを行なった。
- (10)インターネットのホームページを活用し、広く情報収集・提供を図った。